

授業科目(ナンバリング)	事前・事後指導 (QB331)	担当教員 担当形態	木村、乙須、田中(誠)、中山、 柳、浦郷、川上知、神野、長津 複数・オムニバス						
教員免許状取得のための選択の別	中・高等学校:必修	単位数	1単位	開講年次	3年	展開方法	講義	開設時期	集中
科目	教育実践に関する科目								
各科目に含めることが必要な事項									
授業のねらい									アクティブラーニングの類型
事前指導では教育実習生として学校の教育活動に参画する意識を高め、教育に携わる者としての社会的責任を自覚する。事後指導では教育実習で得られた成果と課題等を省察し、教員免許取得までに習得すべき知識や技能等について理解する。これらを通して教育実習の意義を理解することを目標とする。									④⑦
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標					評価手段・方法		評価比率	
専門力	教育実習生として遵守すべき義務等について理解するとともに、その責任を自覚したうえで意欲的に教育実習に参加することができる。					・受講者の発表 ・レポート		20% 10%	
情報収集、分析力	・学習指導案、板書計画、実習日誌の意義を理解した上で、適切に書くことができる。 ・教育実習を通して得られた知識と経験をふりかえり、教員免許取得までにさらに習得することが必要な知識や技能等を理解している。					・レポート		10%	
コミュニケーション力	・意見交換会やディスカッションで自分の意見や考え等を、簡潔に分かりやすく述べることができる。 ・他者の話を適切な態度で傾聴することができる。					・受講者の発表 ・聞く態度		10% 10%	
協働・課題解決力	・教育実習に向けた自己の課題を発見することができる。 ・教育実習での経験を振り返り、実習の成果や反省事項を説明することができる。					・受講者の発表 ・レポート		10% 20%	
多様性理解力	生徒の多様性を理解した指導をすることができ、具体的にどのような指導をしたのかを適切に実習日誌に書くことができる。					・レポート		10%	
出席						受験要件			
合計						100%			
評価基準及び評価手段・方法の補足説明									
教育実習での学びを確認するために、教育実習レポートを課し、事後指導で個別にフィードバックを行う。また、事前・事後指導時の発言内容や授業への貢献度などを評価の対象とする。									
授業の概要									
事前指導としては、教育実習の意義と心構えに関する講話、人権学習や実習実務に関する説明会を行い、教育実習に臨んでの自覚を促すとともに、社会人として守るべき規範やマナーを確認する。 事後指導としては、各実習生の実習状況を把握するために実習報告会を実施して全体指導を行うとともに、各担当教員による個別指導を行う。 この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。									
教科書・参考書									
教科書：教育実習の事前指導（教育実習の意義と心構えに関する講話・人権学習・実習説明会）と事後指導（実習報告会・個別指導）において、資料を配付する。 参考書：別府 昭郎（監修）、寺崎 昌男、黒澤 英典（2009）『教育実習 64 の質問』学文社。 指定図書：別府 昭郎（監修）、寺崎 昌男、黒澤 英典（2009）『教育実習 64 の質問』学文社。									
授業外における学修及び学生に期待すること									
教育実習は実習受入れ校の好意によって成立するものであり、教育実習に臨んではそのことを自覚し、誠意をもって学校の教育活動に取り組むことが求められる。教育に携わる者としての職務専念義務が伴うことを知ってほしい。 また何ごとも事前の綿密な準備と事後の整理・反省が、大きな成果に導くものである。教育実習の事前・事後指導を通じて、学校教育の現場に立つことの意義と社会的責任について、深く考えてもらいたい。									

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	教育実習の意義・心構え①	学校現場を熟知した方にゲストスピーカーとして来てもらい、教育実習の意義や心構えについての講話を聞き、それをもとにディスカッションをする。(木村)	参考図書や教育実習関連の本を読んでおくこと。当日の講義の振り返りを各自行う。
2	人権講話	同和問題を題材とした講話をもとに、人権、差別、合理的配慮について考える。(木村)	同和問題の本を読んでおくこと。当日の講義の振り返りを各自行う。
3	教育実習の意義・心構え② 学習指導案・実習日誌の書き方	教育実習担当教員より、教育実習の意義や心構えについての講話を聞き、教育実習に対する理解を深める。学習指導案、板書計画の作成法を再度確認する。また、実習日誌をつけることの意義を理解し、適切な記入方法を学ぶ。(木村、浦郷)	教育実習関連の本を読んでおくこと。当日の講義の振り返りを各自行う。
4	模擬授業	授業研究会として、模擬授業を行う。その後、実際の学校現場で行われているような意見交換会をする。(木村、乙須、田中(誠)、中山、柳、浦郷、川上知、神野、長津)	教科教育法で使用した教材を見直しておくこと。当日の講義の振り返りを各自行う。
5	教育実習の意義・心構え③	学校現場を熟知した方にゲストスピーカーとして来てもらい、教育実習の意義や心構えについての講話を聞き、それをもとにディスカッションをする。(木村)	教育実習関連の本を読んでおくこと。当日の講義の振り返りを各自行う。
6	実習校訪問(準備指導)	事前の実習校訪問についての心得やその他の様々な必要事項について理解する。また実習校を訪問し、準備指導及びオリエンテーション指導を受ける。(木村、乙須、田中(誠)、中山、柳、浦郷、川上知、神野、長津)	実習校訪問に関する資料を見直してから、訪問すること。当日の指導の振り返りを各自行う。
7	実習状況の把握に基づく指導	実習日誌を基に実習状況の報告をすると共に、各担当教員からの指導を受ける。(木村、乙須、田中(誠)、中山、柳、浦郷、川上知、神野、長津)	実習日誌を読み返し、実習報告の準備をしておくこと。当日の指導の振り返りを各自行う。
8	実習状況の把握に基づく全体指導	実習事後レポート及び教育実習校からの評価等をもとに全体指導を受ける。(木村、乙須、田中(誠)、中山、柳、浦郷、川上知、神野、長津)	実習事後レポートを読み返し、全体指導の準備をしておくこと。当日の指導の振り返りを各自行う。